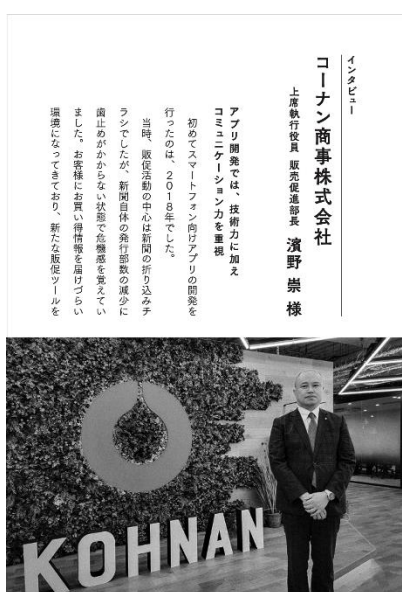


デジタルマーケター必読『成功する企業アプリ～戦略から開発、運用まで 事業にインパクトをもたらすポイント』9月13日発売

デジタルマーケティング責任者・アプリプロジェクトや自社アプリ改善に関わる方に向け、
事例と解説でアプリの困りごとをすべて解決する一冊に（RFP フォーマット等 特典付き）

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、2024年9月13日、書籍『成功する企業アプリ～戦略から開発、運用まで 事業にインパクトをもたらすポイント』を発売することをお知らせします。



※開発支援する企業のロングインタビューも収録

企画・開発・運用各フェーズのポイントがわかる、企業アプリを成功させるためのすべてが詰まった一冊

オンラインとオフラインの世界の融合が進む中、アプリは単なる便利ツールから、生活に不可欠なサービスを提供する存在へと変わってきています。事業の新たな収益の柱となることを期待して、アプリ開発に多額の予算を投入する企業も珍しくありません。一方で、「作ったのはいいけれど、いまひとつ効果が出ない」「なかなかダウンロードしてもらえない」「現場スタッフが思ったほど活用してくれない」そんな悩みを抱えているIT担当者も多いのが実情です。世界中の企業がアプリをリリースし、ユーザーの獲得競争が熾烈を極める「アプリ戦国時代」を勝ち抜き、ビジネスの成果につなげていくには、企画段階から相応の戦略が求められます。自社アプリを、ユーザーから選ばれ支持される存在へと育てていくにはどうすればいいか。その一つの解を、本書で示していきます。

RFP フォーマットや先着 20 社限定のアプリ無料診断など豪華特典付き！

本書では、アプリプロジェクトに取り組む方がすぐに使える、3つの特典もご用意しました。特典をご活用いただくことで、アイリッジがこれまで支援してきた「アプリでより高い成果を上げている企業」のような情報整理や RFP（Request for Proposal=提案依頼書）※1 作成が行えたり、運用中アプリの重要課題を可視化し、取り組むべき施策がイメージできます。

※1) RFP (Request for Proposal=提案依頼書) : アプリ開発を行う背景や課題、どんなアプリが必要かや、ほしい機能、予算と納期まで盛り込まれた資料。開発サイドへの相談の際、基礎資料となるものの一つで、自社としての情報整理や関係者間での情報共有にも活用できる。

本書の構成

- 第1章 顧客とのデジタルコミュニケーションの激変
- 第2章 アプリ開発が失敗に終わる6つの原因
- 第3章 アプリプロジェクト成功への道 ~企画編~
- 第4章 アプリプロジェクト成功への道 ~開発編~
- 第5章 アプリプロジェクト成功への道 ~運用編~
- 第6章 従業員、顧客、自社 ——三方よしを目指すのが、DX成功の鍵

<購入者特典>

- ・テンプレートつき！アプリプロジェクトの根幹を支える「バリュープロポジション」と「カスタマージャーニーマップ」の活用方法
- ・開発ベンダーから良い提案がもらいやすい！RFPフォーマット
- ・《先着20社限定》今あるアプリの重要課題を見つけます！アプリ無料診断のお申込み

このような方におすすめ

- ・ビジネス視点も備えたアプリ開発を求められている、デジタルマーケティングの責任者
- ・これからアプリプロジェクトを推進するために、押さえておくべきポイントを確認したい人
- ・自社アプリの課題を見つけ、改善したいと考えている人

書誌情報

書名 : 成功する企業アプリ
著者 : 株式会社アイリッジ
発売日 : 2024年9月13日(金)
ページ数 : 200ページ
サイズ : 四六版(18.8 x 13 x 1.6 cm)
定価 : 1,848円(本体1,680円+税10%)
ISBN : 978-4-295-41014-0

Amazonの書籍情報ページ : <https://www.amazon.co.jp/dp/4295410144/>

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、企業のアプリビジネス支援とビジネスプロデュース支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。

アプリビジネス支援ではOMO*アプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけたアプリの月間アクティブユーザー数は国内最大級の9,000万超。開発から機能拡張、マーケティング施策まで行えるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」が主カプロダクトです。

*Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング

ビジネスプロデュース支援では、アプリに限定しない、コミュニケーションデザインの戦略立案からデジタルとリアルを統合した施策の企画・実行までを支援可能。グループ会社のQoilと連携し、プロデューサーとプランナー、クリエイティブディレクター等から成るチームで、“点”の相談を“面”の課題解決に導く独自の価値提供を行います。総合電機メーカーや金融サービス事業者、電気通信事業者等、業界トップ企業の幅広い実績を持ちます。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。